

平成20年

上砂川町議会会議録

第1回臨時会

上砂川町議会

上砂川町議会（第1回臨時会）会議録目次

（1月17日）

議事日程	2
会議録署名議員	2
開会の宣告	2
開議の宣告	2
会議録署名議員指名について	2
会期決定について	2
新年のあいさつ	2
選挙第 1号 上砂川町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	4
意見書案第1号 道路特定財源の確保に関する意見書（原案可決）	5
閉会の宣告	6
出席議員	8
説明のため出席した者	9
事務局職員出席者	9

第 1 回 臨 時 町 議 会

(第 1 号)

平成 20 年

上砂川町議会第 1 回臨時会会議録（第 1 日）

1 月 17 日（木曜日）午前 10 時 00 分 開 会
午前 10 時 22 分 閉 会

○議事日程 第 1 号

- 第 1 会議録署名議員指名について
- 第 2 会期決定について
1 月 17 日 1 日間
- 第 3 選挙第 1 号 上砂川町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について
- 第 4 意見書案第 1 号 道路特定財源の確保に関する意見書

○会議録署名議員

7 番	横	溝	一	成
8 番	柳	川	暉	雄

開会の宣告

○議長（貝沼宏幸） ただいまの出席議員は 10 名であります。

理事者側につきましては、大西教育委員長が欠席しております。

定足数に達しておりますので、平成 20 年第 1 回上砂川町議会臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。

（開会 午前 10 時 00 分）

開議の宣告

○議長（貝沼宏幸） 直ちに本日の会議を開きます。

会議録署名議員指名について

○議長（貝沼宏幸） 日程第 1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 117 条の規定によって、7 番、横溝議員、8 番、柳川議員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

会期決定について

○議長（貝沼宏幸） 日程第 2、会期決定について議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

よって、会期は、本日 1 日に決定いたしました。

新年のあいさつ

○議長（貝沼宏幸） ここで、平成 20 年を迎え初めての議会でございますので、町長からごあいさつをいただきたいと思います。町長。

○町長（加賀谷政清） 新年の初議会でございますので、改めまして皆さん、明けましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしくお願いを申し上げたいと思います。

昨年は、私たち地方に住む者にとりましては、景気の回復を実感できず、さらにまた原油の高騰によりまして灯油やガソリン、日常生活用品などが相次ぎ値上げされまして、私たちの家計を直撃した 1 年間であったと思います。また、三位一体改革によりまして地方交付税が削減されまして、都市と地方の地域間格差が拡大され、とりわけ私どもの旧産炭地におきましては財政状況も大変悪く、財政格差も広がってきている状況下にござい

ます。昨年暮れに2008年の政府原案が内示されましたけれども、こうした地域間の格差の解消を図るための地方交付税の特別枠など創設がございました。しかし地方交付税の本来の機能が復元された形となっておらず、抜本的な地域間格差につながっていないのも事実であります。こうした状況にあります。本町におきましては産炭地域発展基金の一括返済問題やこの問題に伴っての財政健全化計画の策定、さらには市町村合併問題など多くの課題解決に取り組んだ1年でもあったと思っております。これらの課題解決に当たっては、議員の皆さん方のご指導とご協力によりまして、産炭地域発展基金の一括返済問題も何とか解決を見、さらにまた財政健全化計画の策定に当たっても職員や議員の人件費の削減を中心といたしまして、大変厳しい内容の計画とし、実施をすることによりまして、赤字を解消することができました。

さらにまた、昨年暮れに自治体財政破綻基準の4つの指標が総務省から公表されました。本町の場合、早くから行財政改革に取り組んできたこともありまして、現状ではいずれの財政破綻基準にも該当しない財政状況となっております。このように町民や議会、職員のご協力によりまして、少しずつではありますが、問題の解決を図ってことを迎えることができました。改めまして、これまでのご協力に心から感謝申し上げたいと思っております。今後も道の指導のもとにこの財政健全化計画に基づいて、財政運営を進めなければならないと思っておりますが、今現在20年度の予算編成に取り組んでいるところではございますが、私としては町民の生活維持を図るためにも、財政の許す限り改善に努力してまいりたい、こう考えておりますので、議員の皆さんのさらなるご協力をお願い申し上げたいと考えているところでございます。

また、2市3町の合併協議の問題であります。いつも申し上げてございますが、産炭地の財政格差、あるいは市町の考え方にも温度差がござい

まして、ことしに持ち越されました。21日の日に首長会議が予定されておりますが、合併には相手があることでありますので、どのような方向の協議になるか、私自身まだわかってございませんが、しかし現状ではいろんな情報をかんがみますと、2市3町の枠組みでの協議は大変厳しい状況下にあると理解をいたしているところであります。しかし、この枠組みにつきましては道が示した構想であります。そうした面では、合併構想を策定した道として、新しい地域づくりの観点から道のリーダーシップに期待をして、そして道の指導を得ながら、議会の皆さんと協議をして、この問題に対応してまいりたいと考えてございますので、この点についても議会の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げたいと思っております。

なお、この問題についての最近の経過につきましては、後ほど合併勉強会がございまして、そのときに具体的に内容についてお話を申し上げたいと思っております。

こうしたことから、ことしも財政問題や合併問題など、本町にとっては大きな課題であります。さらにまた、人口減少、少子高齢化が進行する中で大変厳しい行政運営となると思いますが、私は決意を新たにいたしまして、職員と一丸となってこの試練に立ち向かい、町民の皆さんが少しでも安心して暮らせることのできる町づくりに全力を尽くす所存でございますので、議員各位のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。新年に当たってのごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（貝沼宏幸） 初議会でございますので、私からも一言ごあいさつをさせていただきます。

まずもって、議員の皆さん、そして理事者の皆さんにおかれましては、平成20年の新春をご家族ともどもご健勝でお迎えになられたことと心からお喜びを申し上げます。昨年を振り返りますと、国内外ともにいろんなことがあった

わけでございますが、我が町におきましては3月末に産炭地域発展基金問題が町長や関係職員の大変な努力によって基金の取り崩しが認められ、すべてを解決したことは大変大きな成果であり、町民も安心をしているところであります。町議会におきましては、この1年間円滑な議会運営のため皆様方には大変ご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いを申し上げますとところでございます。

さて、昨年暮れに政府が発表いたしました2008年度の国の予算案は、一般会計では本年度当初比では0.2%増の83兆613億円で、政策的経費に充てる一般歳出も0.6%増の47兆2,800円で2年連続の増加となっております。歳入におきましては、景気停滞による税収の伸び悩みで、新規の国債発行額は25兆3,480億円と前年度並みとなっておりますが、同年度末の国債発行残高は約554兆円と過去最高を更新するという見込みとなっております。また、国の新年度予算は福田政権にとりまして初めての予算編成となっておりますが、政府といたしましては地域活性化を予算編成の重要政策に掲げておりますが、年金の保険料の引き上げや医療費の負担増など、一般国民にはかなりの負担を求める内容で、生活基盤は今まで以上に厳しくなるのではないかと予想されるものであります。新年度予算の中で実際に地方自治体に配分されます地方交付税等は、本年度より6,800億円を増加した15兆6,136億円となっております。3年ぶりの増加となっているわけでありまして、当町の新年度予算につきましては、現在編成中と先ほど町長がおっしゃっていましたが、人口減によりまして地方税の減収の見込みは、これは自然現象でやむを得ませんが、新年度においては久しぶりの地方交付税の減額はないのではないかと予想されますが、地方財政を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況にあると思われまして、町理事者におかれましては、地方自治法の本旨であります最少の経費で最

大の行政効果を上げるよう最善を尽くしていただきたいものとお願ひする次第であります。

また、合併問題であります。町長も触れましたように一昨年道が示した砂川市を中心とした2市3町の合併パターンの枠組みでの協議は何回かの会議を持って財政問題等について協議をしたところでございますが、産炭地の財政問題などのこともあってなかなか前に進んでおりませんが、1月21日に首長会議が開催される予定になっており、ここでどのような話し合いがなされるのかわかりませんが、いずれにいたしましても新合併特例法の期限からいけば春ころには結論を出さないとそれには間に合わないということで、この合併問題がどのようになっていくのか、前に進むか、とまるか、解散かということで、その辺のことははっきりしてくるのではないかと思います。私も議員の任期も残すところあと1年となっております。合併問題がどのようになりましても、町民の皆さんのご理解、ご協力をいただきながら、この難局を乗り越え、明るく住みよい町づくりを目指し、皆さんとともにこの1年上砂川町政に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

結びになりますけれども、議員の皆さん、そして理事者の皆さんの今後ますますのご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、初議会に当たりましてのごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

以上であいさつが終わりましたので、これから議事日程に従い、議事を進めてまいります。

選挙第1号

○議長（貝沼宏幸） 日程第3、選挙第1号 上砂川町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について議題といたします。

本件につきましては、平成19年12月3日付で議会あてに、本町の選挙管理委員会委員及び補充員の全員が20年1月19日で任期満了となり、選挙を行うべき理由を生じた旨の通知がござ

いましたので、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定により、議会において選挙管理委員4名、同補充員4名の選挙を執行することになりました。

この選挙の取り扱いにつきましては、議会運営委員会で協議した結果、選挙の方法は指名推選により行う旨の結論に達しました。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選により行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定いたしました。

お諮りいたします。指名の方法は、議長において指名したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

したがって、議長が指名することに決定いたしました。

本件につきましては、広く町内各層から選出することとし、商工団体、青年団体、自治団体にそれぞれの候補者の推薦をお願いいたしました。その結果、お手元に配付の名簿のとおり各団体からそれぞれ推薦がございました。

過日行われました議会運営委員会で協議し、本議会において候補者として指名することといたしました次第でございます。

それでは初めに、選挙管理委員を指名いたします。横林典夫氏、岡克人氏、吉川洋氏、平間サツ氏、以上4名を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました4名を選挙管理委員会委員の当選人とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました横林典夫氏、岡克人氏、吉川洋氏、平間サツ氏、以上4名の方が選挙管理委員に当選されました。

次に、選挙管理委員補充員を指名いたします。中村隆志氏、伊東裕鐘氏、内村知世史氏、大橋佳代子氏、以上4名を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました4名の方を選挙管理委員補充員の当選人とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました中村隆志氏、伊東裕鐘氏、内村知世史氏、大橋佳代子氏、以上4名の方が選挙管理委員補充員に当選されました。

次に、補充員の順位についてお諮りいたします。補充員の順位につきましては、ただいま指名いたしました順位にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

したがって、補充員の順位は、1番、中村隆志氏、2番、伊東裕鐘氏、3番、内村知世史氏、4番、大橋佳代子氏、以上の順位に決定いたしました。

意見書案第1号

○議長（貝沼宏幸） 次、日程第4、意見書案第1号 道路特定財源の確保に関する意見書を議題といたします。

2番、堀内副議長、ご登壇の上ご発言願います。

○2番（堀内哲夫） 道路特定財源の確保に関する意見書（案）。

本意見書案について、会議規則第13条の規定により提出する。

平成20年1月17日

上砂川町議会議長 貝 沼 宏 幸 様

提出議員 堀 内 哲 夫

賛成議員 森 国 三 大 内 兆 春
川 上 三 男 椿 原 満 春
本文に入らせていただきます。

意見書案第1号

道路特定財源の確保に関する意見書

道路は、道民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、とりわけ人や物の移動の多くを自動車交通に依存している地方にとって、豊かで安心して暮らせる地域社会の形成を図るため、道路整備の重要性、必要性は一層増大してきている。

特に、北海道にあっては、広大な面積を有していることから広域分散型社会が形成され、生活圏はもとより地域間の移動には、長い距離と多くの時間を要し、高規格幹線道路から道民生活に最も密着した市町村道に至るまで、北海道の道路網の整備は道民が長年にわたり熱望してきているところであり、防災対策や救急医療など生活道路の確保などの面においても、まだまだ道路の整備は不十分であるほか、除雪などの維持管理業務や老朽化を迎える橋梁など、今後の維持更新費用の増大が見込まれている。

このような中、道内地方公共団体においては、毎年、道路特定財源のほか多くの一般財源を投入し、道路の整備や維持管理を行っているところである。

よって、国においては、地方の実情を十分に理解し、道路特定財源の安定的な確保と真に必要な道路、とりわけ遅れている地方の道路整備を着実に進めるため次の事項について、強く要望する。

記

1. 道路特定財源については、平成20年度以降も、現行の税率水準を維持し、道路整備に必要な予算を確保すること。
2. 地域の道路整備の推進に必要な地方道路整備臨時交付金制度を継続するとともに地方への配分割合を高め、道路整備財源の充実に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年1月17日

上砂川町議会議長 貝 沼 宏 幸

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣。

以上であります。

○議長（貝沼宏幸） 以上で本件に対する説明を終わります。

引き続き質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

意見書案第1号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（貝沼宏幸） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第1号 道路特定財源の確保に関する意見書は、原案のとおり決定いたしました。

閉会の宣告

○議長（貝沼宏幸） 以上で本臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

したがって、平成20年第1回上砂川町議会臨時会を閉会いたします。どうもご苦労さまでございました。

（閉会 午前10時22分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 貝 沼 宏 幸

署 名 議 員 横 溝 一 成

署 名 議 員 柳 川 暉 雄

出席議員

議席 番号	氏 名	1 臨
		1.17
1	貝 沼 宏 幸	
2	堀 内 哲 夫	
3	高 橋 成 和	
4	大 内 兆 春	
5	川 上 三 男	
6	小 林 繁	
7	横 溝 一 成	
8	柳 川 暉 雄	
9	森 国 三	
10	椿 原 満 春	

説明のため出席した者

役 職 名	氏 名	1 臨
		1.17
町 長	加賀谷 政 清	
副 町 長	貝 田 喜 雄	
教 育 長	櫻 満 雄	
教 育 委 員 長	大 西 よし子	×
監 査 委 員	道 藤 秋 夫	
議 会 事 務 局 長	渡 辺 修 一	
監 査 事 務 局 長		
総 務 財 政 課 長	永 井 孝 一	
企 画 産 業 課 長	林 智 明	
福 祉 保 健 課 長	山 本 丈 夫	
町 民 生 活 課 長	高 橋 良	
建 設 水 道 課 長	高 木 則 和	
出 納 室 長	勝 又 寛	
消 防 長	川 下 清	
教 育 次 長	小 林 均	
老 人 保 健 施 設 長	是 洞 春 輝	
町 立 診 療 所 事 務 長		
特 別 養 護 老 人 ホ - ム 施 設 長		

事務局職員出席者

職 名	氏 名	1 臨
		1.17
事 務 局 長	渡 辺 修 一	
書 記	高 橋 真 利 子	